

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大阪リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人福田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	理学療法学科	夜 通信	1305 時間	135 時間	
	作業療法学科	夜 通信	1320 時間	135 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公表 https://www.ocr.ac.jp/support/scholarship.php#content03

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人福田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表 https://www.ocr.ac.jp/support/scholarship.php#content03

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	理事長（他法人）	2017. 6. 5 ～2024. 6. 4	財務・経営
非常勤	名誉教授	2019. 4. 1 ～ 2022. 3. 31	教学
非常勤	理事長・病院長	2017. 6. 5 ～2020. 6. 4	産業医
非常勤	株式会社取締役	2020. 6. 5 ～2024. 6. 4	財務・経営
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人福田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
(1) シラバス作成過程	
<p>毎年度、11月の学科会議において次年度の授業科目について検討し作成する。</p> <p>1月上旬： 依頼を受けた科目担当者は、教務担当専任教員と打ち合わせしシラバス記入例に基づいてシラバスを作成する。</p> <p>2月末日： 科目担当者よりシラバスが提出される。</p>	
(2) シラバスの公表時期	
<p>新入生には、4月入学式後新入生オリエンテーションにおいて、在校生には、3月末日に、進級オリエンテーションにおいて冊子にして配布する。また、6月中旬にはホームページにて公開する。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページにて公表</p> <p>https://www.ocr.ac.jp/support/scholarship.php#content03</p>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

単位授与・履修認定については、カリキュラムポリシー、学則第8章に定める履修方法、試験規定、シラバスに記載している評価方法に基づいて年度末の進級判定会議にて単位の認定を行う。

学則第19条に基づく成績の評点は、次のとおりとする。

成績は、試験・提出課題・出席状況等を総合し各授業科目の担当者が評価する。

成績の評点は、各科目100点を満点とし、S・A・B・Cを合格とする。Dは不合格とする。

S : 100点～90点
A : 89～80点
B : 79点～70点
C : 60点～69点
D : 60点未満

上記の細目は学生便覧にて公表している。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

年度末に授業科目ごとのGPAを使用して評価する仕組みを導入している。

成績の評価は、各科目100点を満点とし、S・A・B・Cを合格とする。Dは不合格。

S : 100点～90点
A : 89～80点
B : 79点～70点
C : 60点～69点
D : 60点未満

客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページにて公表 https://www.ocr.ac.jp/support/scholarship.php#content03
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>(1) 卒業の認定方針 学生便覧において公表する。</p> <p>修業年限以上在籍し各学科所定の単位数を修得するとともに、以下の素養を身につけ、卒業試験に合格した学生に対して卒業を認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セラピストとしての倫理観 ・分かりやすく表現できる記述力、プレゼンテーション能力、およびコミュニケーション能力 ・学科が目標としたセラピストとしての能力 <p>理学療法学科は、125 単位（2019 年入学生～）。125 単位（2020 年入学生～） 作業療法学科は、124 単位（2019 年入学生～）。127 単位（2020 年入学生～）</p> <p>(2) 卒業の認定に関する実施状況</p> <p>卒業の認定は、科目担当者の評価を基に最終学年次末に行われる卒業判定会議において卒業を認定し、卒業を認定した者に対して、卒業証書を授与する。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページにて公表 https://www.ocr.ac.jp/support/scholarship.php#content03

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大阪リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人福田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.fukuda.ac.jp/data/disclosure/r1_business_report_07.pdf
収支計算書又は損益計算書	http://www.fukuda.ac.jp/data/disclosure/r1_business_report_04.pdf
財産目録	http://www.fukuda.ac.jp/data/disclosure/r1_business_report_03.pdf
事業報告書	http://www.fukuda.ac.jp/data/disclosure/r1_business_report_01.pdf
監事による監査報告（書）	http://www.fukuda.ac.jp/data/disclosure/r1_business_report_02.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	理学療法学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	夜		講義	演習	実習	実験	実技
3年		3150 単位時間／単位	1470 単位時間 ／単位	420 単位時間 ／単位	1260 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		85人	0人	7人	43人	50人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

（１）シラバス作成過程

毎年度、11月の学科会議において次年度の授業科目について検討し作成する。

1月上旬：依頼を受けた科目担当者は、教務担当専任教員と打ち合わせしシラバス記入例に基づいてシラバスを作成する。

2月末日：科目担当者よりシラバスが提出される。

（２）シラバスの公表時期

新入生には、4月入学式後新入生オリエンテーションにおいて、在校生には、3月末日に、進級オリエンテーションにおいて冊子にして配布する。

また、6月中旬にはホームページにて公開する。

成績評価の基準・方法

（概要）

単位授与・履修認定については、カリキュラムポリシー、学則第8章に定める履修方法、試験規定、シラバスに記載している評価方法に基づいて年度末の進級判定会議にて単位の認定を行う。

学則第19条に基づく成績の評点は、次のとおりとする。

成績は、試験・提出課題・出席状況等を総合し各授業科目の担当者が評価する。

成績の評点は、各科目100点を満点とし、S・A・B・Cを合格とする。Dは不合格とする。

S：100点～90点

A：89～80点

B：79点～70点

C：60点～69点

D：60点未満

上記の細目は学生便覧にて公表している。

卒業・進級の認定基準 (概要) 進級要件：各学年の教育課程に定められた必修科目の全単位が認定されなければならない。 卒業要件：教育課程に定められた全科目の単位が認定され、卒業試験に合格しなければならない。
学修支援等 (概要) クラス担任制により、定期的に学生本人のみならず保護者とも連絡をとり、状況確認をしながら適切な指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
37人 (100%)	0人 (0%)	37人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 医療機関、介護老人保健施設、一般企業。			
(就職指導内容) 授業や実習での経験をもとに、学生の希望や適性を考慮して、担任および学科長が一人ひとりに合った就職をアドバイス。多くの病院・施設の中から、学生の希望に合った地域や分野の紹介も行っている。個別指導によるきめ細かいサポートで、学生全員が自分の希望や適性に合った就職を実現している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 理学療法士資格。			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
99人	8人	8.1%
(中途退学の主な理由) 学業不振、経済的理由、進路変更。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 各クラスに担任を1名配置しており、きめ細かな指導を心がけている。手段は担任による個別面談で、場合によっては学科の責任者を交えた面談、保護者を交えた面談を行う。内容は、学習上の問題、就職の問題、生活上の問題、経済的問題、心身の健康に関する問題などあらゆる領域にわたっており、その中で退学に至る予兆をいち早く発見し、防止策を講じている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
医療分野		医療専門課程	作業療法学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
3年	夜	3150 単位時間/単位	1620 単位時間 /単位	180 単位時間 /単位	1350 単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120人		95人	0人	7人	25人	32人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>(概要)</p> <p>(1) シラバス作成過程</p> <p>毎年度、11月の学科会議において次年度の授業科目について検討し作成する。</p> <p>1月上旬：依頼を受けた科目担当者は、教務担当専任教員と打ち合わせしシラバス記入例に基づいてシラバスをシラバスを作成する。</p> <p>2月末日：科目担当者よりシラバスが提出される。</p> <p>(2) シラバスの公表時期</p> <p>新入生には、4月入学式後新入生オリエンテーションにおいて、在校生には、3月末日に、進級オリエンテーションにおいて冊子にして配布する。</p> <p>また、6月中旬にはホームページにて公開する。</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>(概要)</p> <p>単位授与・履修認定については、カリキュラムポリシー、学則第8章に定める履修方法、試験規定、シラバスに記載している評価方法に基づいて年度末の進級判定会議にて単位の認定を行う。</p> <p>学則第19条に基づく成績の評点は、次のとおりとする。 成績は、試験・提出課題・出席状況等を総合し各授業科目の担当者が評価する。</p> <p>成績の評点は、各科目100点を満点とし、S・A・B・Cを合格とする。 Dは不合格とする。</p>	

S : 100点～90点
 A : 89～80点
 B : 79点～70点
 C : 60点～69点
 D : 60点未満

上記の細目は学生便覧にて公表している。

卒業・進級の認定基準

(概要)
 進級要件：各学年の教育課程に定められた必修科目の全単位が認定されなければならない。
 卒業要件：教育課程に定められた全科目の単位が認定され、卒業試験に合格しなければならない。

学修支援等

(概要)
 クラス担任制により、定期的に学生本人のみならず保護者とも連絡をとり、状況確認をしながら適切な指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
29人 (100%)	0人 (0%)	25人 (86.2%)	4人 (13.8%)
(主な就職、業界等) 医療機関、介護老人保健施設、一般企業。			
(就職指導内容) 授業や実習での経験をもとに、学生の希望や適性を考慮して、担任および学科長が一人ひとりに合った就職をアドバイス。多くの病院・施設の中から、学生の希望に合った地域や分野の紹介も行っている。個別指導によるきめ細かいサポートで、学生全員が自分の希望や適性に合った就職を実現している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 理学療法士資格。			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
98 人	7 人	7.1%
(中途退学の主な理由) 学業不振、経済的理由、進路変更。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 各クラスに担任を1名配置しており、きめ細かな指導を心がけている。手段は担任による個別面談で、場合によっては学科の責任者を交えた面談、保護者を交えた面談を行う。内容は、学習上の問題、就職の問題、生活上の問題、経済的問題、心身の健康に関する問題などあらゆる領域にわたっており、その中で退学に至る予兆をいち早く発見し、防止策を講じている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	施設設備整 備費	(…以 下、必要 に応じ追 加)	合計	備考(任意記 載事項)
理学療法学 科1年生	300,000 円	800,000 円	400,000 円	49,000 円	1,549,000 円	
理学療法学 科2・3年 生		800,000 円	400,000 円	29,000 円	1,229,000 円	
作業療法学 科1年生	300,000 円	800,000 円	400,000 円	49,000 円	1,549,000 円	
作業療法学 科2・3年 生		800,000 円	400,000 円	29,000 円	1,229,000 円	
			修学支援(任意記載事項)			

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公表 https://www.ocr.ac.jp/support/scholarship.php#content03
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 学校の情報の公開については、企業等の学校関係者にとどまらず、ホームページ上で広く一般に対して公開する。公開する情報については、「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に例示された項目に従う。 さらに企業等の関係者への情報提供としては、年1回、臨床実習指導者会議を開催し、

本校の教育活動や学校運営方針について説明し、理解を深めて頂く。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
正風病院 リハビリテーション部 理学療法士	2020. 8. 1～202. 7. 31	企業等
株式会社コミュニティケア訪問介護ステーション 理学療法士	2020. 8. 1～202. 7. 31	企業等
社会福祉法人慶生会特別養護老人ホーム瑞光苑 作業療法士	2020. 8. 1～202. 7. 31	企業等
大阪リハビリテーション専門学校 理学療法学科 卒業生	2020. 8. 1～202. 7. 31	卒業生
大阪リハビリテーション専門学校 作業療法学科 卒業生	2020. 8. 1～202. 7. 31	卒業生
大阪リハビリテーション専門学校 理学療法学科在学生の保護者	2020. 8. 1～202. 7. 31	保護者
大阪リハビリテーション専門学校 作業療法学科在学生の保護者	2020. 8. 1～202. 7. 31	保護者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ocr.ac.jp/common/pdf/other/provision/H30_gakkoukankei-shahyouka.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		
一般社団法人リハビリテーション教育評価機構		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ocr.ac.jp/other/disclosure.php
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	大阪リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人福田学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		0人	0人	0人
内 訳	第Ⅰ区分	0人	0人	
	第Ⅱ区分	0人	0人	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				0人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。